

## 行政視察に行ってきました

### 総務常任委員会

視察日

1月21日～22日

視察先

- ①兵庫県小野市
- ②兵庫県養父市

参加者

- 依光美代子 小松孝
- 利根健二 森田雄介
- 爲近初男 島岡信彦
- 山崎龍太郎

### 産業建設常任委員会

視察日

1月17日～19日

視察先

- ①岡山県備前市
- ②倉敷市真備町
- ③倉敷市倉敷観光コンベンションビューロー
- ④倉敷市美観地区

参加者

- 甲藤邦廣 小松紀夫
- 山崎晃子 萩野義和
- 比与森光俊 笹岡優

### 教育厚生常任委員会

視察日

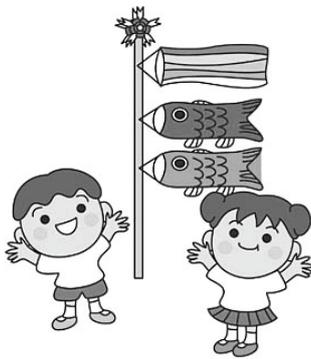
2月6日～7日

視察先

- ①岡山県新見市立中央図書館
- ②広島県公立みつぎ総合病院

参加者

- 濱田百合子 山口学
- 村田珠美 舟谷千幸
- 久保和昭 大岸眞弓
- 山本芳男



※各委員会の視察内容は次の通りです

### 総務常任委員会

①小野市役所

行政運営

民間出身の市長誕生により、民間の感覚や感性を行政に生かし、強いリーダーシップを発揮。職員に対し行動指針を明確に掲げ、意識改革を行っている。

基本理念は、行政も経営であり、市役所は【市】民の【役】に立つ【所】としている。

行政経営戦略は①顧客（市民）満足度志向の徹底、②成果主義、③オンリーワン、④後手から先手管理。

また、3つの基幹ツールが①方針管理制度の導入、②「報・連・相」の仕組み、③多様な広聴の仕組みがある。人事制度や入札制度改革の実践。

オンリーワンのさまざまな施策など参考になることが多数あった。

### 養父市役所

②養父市役所

防災対策の取り組み



一斉避難訓練は住民の約半数が参加した。自治会への加入もほぼ100%である。取り組みは、①養父市一斉避難訓練の実施、②防災マップの作製、③出前講座の実施、④消防施設整備補助金事業及び消火栓分担金制度の実施、⑤防災行政告知システムの個別受信機を全戸配付。

本市の福祉マップや要支援者名簿の作成・管理方法に検討の余地を感じた。

## 教育厚生常任委員会

### ①新見市立中央図書館

愛称は「まなびの森 新見図書館」

第2次振興計画に沿い、新見図書館移転と庁舎等複合施設を建設することとなり、生涯学習センターを改修して平成29年4月に開館した。

高梁川に面した環境の良い場所ので3階建。1階は事務室・音楽練習室・ボランティア研修室等、2階は閲覧室・カフェ等、3階は児童書コーナー・市民学習室・特別会議室等があり、総工費は5億8千万円。

開館時間は10時～20時、蔵書10万6587冊、1日平均利用者数96人、貸出冊数356冊である。

また、図書館へは市内循環バス「ら・くるっと」が高校生以下は無料で利用できる。基本理念は「人、文化、世代、地域をつなぐ図書館」である。



### ②公立みつぎ総合病院

地域包括ケアシステム

昭和49年に病院を中心に、医療、保健(予防)、介護、福祉を一体的に連携させ、寝たきりゼロ作戦を推進し、「福祉の町」を宣言。

長寿を喜び合える明るいまちづくりを進めてきたことが、今日の地域包括ケアシステムの構築につながった。

人口約6万人の地域の中核的総合病院であり、2次救急指定病院である。このシステムは、行政や専門職のみでなく、住民も交えた、地域ぐるみの包括ケアシステムといえる。

## 産業建設常任委員会

### ②倉敷市真備町

西日本豪雨災害被災状況及び復旧状況

災害発生の経緯については、豪雨により一級河川小田川及び県管理の末正川、真谷川、大武谷川が決壊、損傷したことにより、真備町に未曾有の大災害が発生した。

この大きな原因は、高梁川と小田川の合流部において、高梁川の増水により小田川等の排水が阻害され、上流の堤防が越水、決壊したことによるバックウオーター現象が起きたことによる。

物部川と比較すると河川が緩傾斜であり、流速も遅く、本流の河川が増水すると支流は流水が阻害されやすく、バックウオーター現象が発生しやすいと考えられる。

真備町では避難勧告、避難指示による実際の避難者は少なく、要介護者に対する支援も今後の課題であるとのこと。

### ③倉敷観光コンベンションビューロー(案内所)

観光資源を生かした観光施策等について

文化・産業・観光の振興や地域の活性化を目的とし、観光客の誘致、コンベンション(大会・学会・会議)の誘致・支援、フィルムコミッション等の事業を公的な立場から行っている団体。

職員総数23名・事務局職員11名・観光案内所職員12名・会員数560名である。

市議会の文化産業委員会と観光課との連携で、観光振興プログラム等を作成。

